

清々しい河川敷：
堤防を駆け下りるとすぐに水辺 季節の花に彩られた河川空間



2018年3月（東京都江戸川区・旧中川）

◆地震水害対策から生まれた静かな水辺

旧中川は昭和5年(1930)にできた荒川放水路により、上下流が分断されましたが、下流部は「水位低下対策」による江東内部河川となり、複数の閘門・ゲートで締め切られて1993年に完成しました。

かつての「かさ上げ護岸」は不要になり、緩傾斜堤防で人が近づきやすい水辺が生まれています。

◆区民ボランティアで河川敷を美しく

旧中川左岸側の小松川地区ではボランティアの力でお花畑が毎年維持されています。現地出会った人に「いつも大変ですね」と声をかけると、「私は近くで農業をやっているから」と明るい返事でした。

岡村幸二（JRRN会員）